

## 第16回「社会保障審議会企業年金・個人年金部会」資料

# 職場で資産形成の機運を高めるための試み

---

上級研究員 金子 久

株式会社野村総合研究所  
金融ITイノベーション事業本部  
金融イノベーション研究部

2020年10月14日

**NRI**

*Share the Next Values!*



# 自分の企業年金がわからない／積立に取り組んでいないサラリーマンは多い

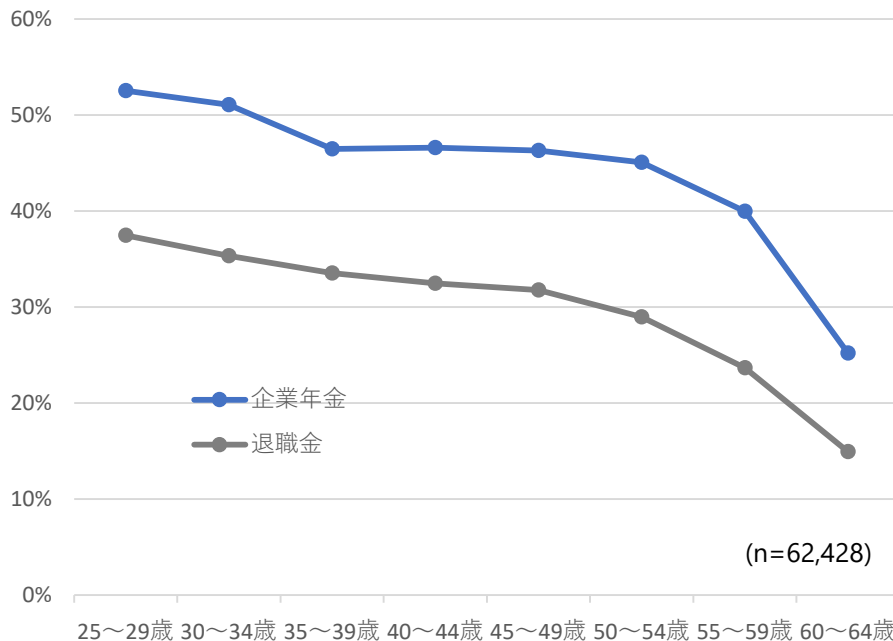
## サラリーマン6万人を対象としたアンケートの結果

- 企業年金の受取額が「わからない」人は多い。一般的な定年年齢直前の55~59歳でも企業年金の受取額が「わからない」と回答した人は40%。
- 積立に取り組んでいない人は多い。年収が700万円以上あっても、積立を行っていない人は37%。

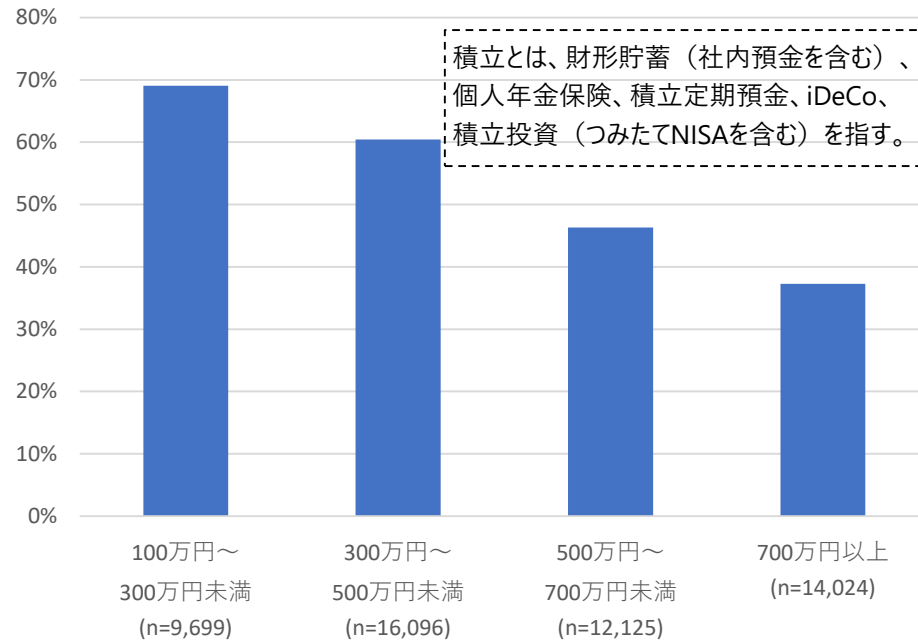
## 私たちの取り組み

- 企業年金や退職金の見込み額を把握可能にする
- 金融リテラシー向上と資産形成を促す

受取見込額が分からない人の割合（年齢階層別）



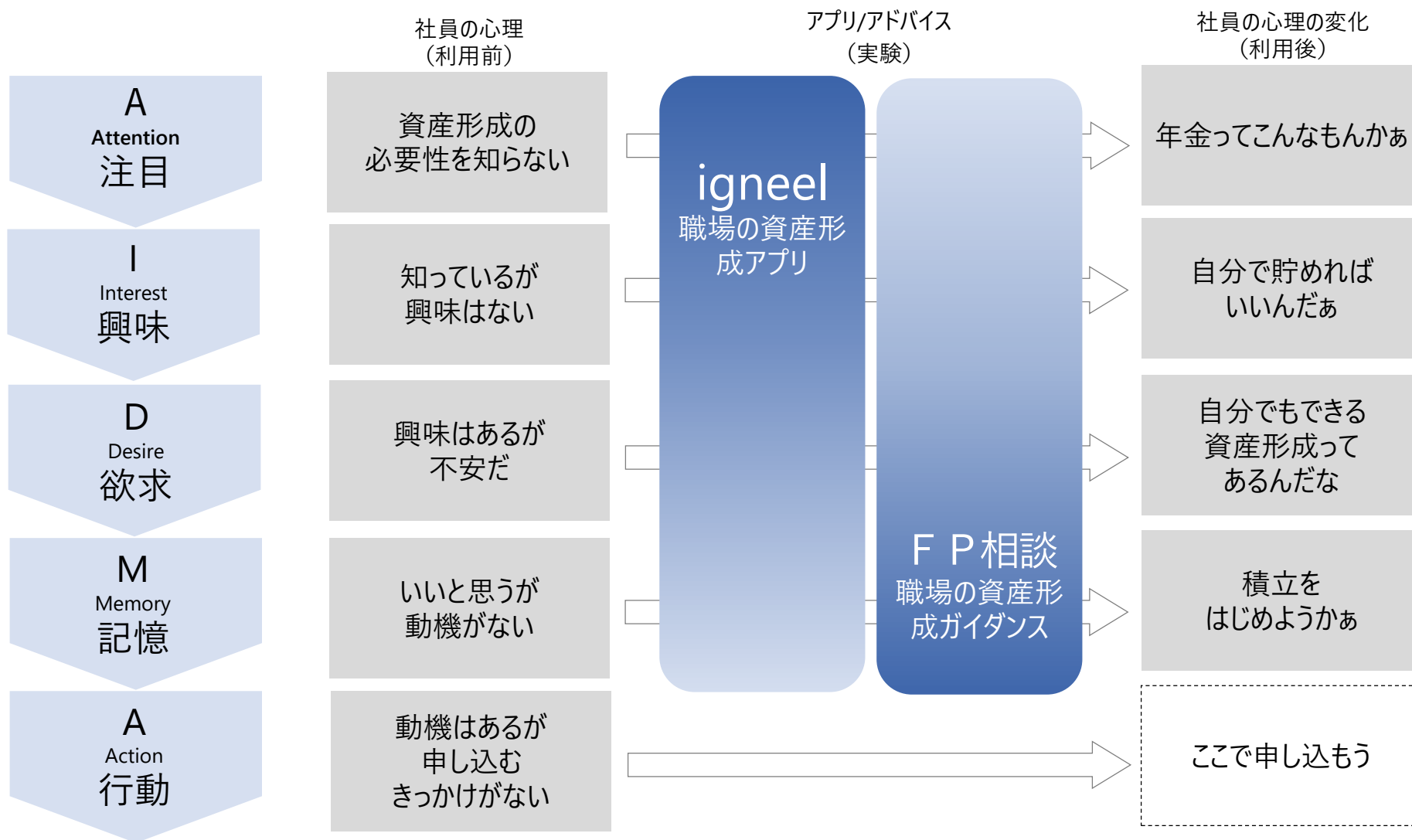
積立を行っていない人の割合(年収階層別)



注) 民間企業の会社員（契約社員・派遣社員を含む）、公務員等62,428人を対象に調査出所「積立に関するアンケート調査（2020年3月）」（野村総合研究所）

# 職場での資産形成の機運を高めるための試み

- アプリやガイダンスにより社員に関心を持たせ、自分にとってどんな資産形成が向いているのか理解してもらい、始めてもらえるかを確認するため社内実験を行っている。



# 取り組みのスケジュール

2019年					2020年											
8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

職場の資産形成アプリ  
igneel

▲30名程度でテスト利用

▲利用者を特定の部署に限定（200名程度）／年金シミュレーション機能をリリース



社内イベントの募集、興味・関心のシェア機能を拡充  
アクティブユーザーは300人程度に達する

▲資産形成を軸に大幅バージョンアップ

▲利用者を全社に拡大/  
1,000ユーザに到達

▲1,300ユーザに到達

職場の資産形成ガイダンス  
FP相談

▲社員モニターの募集

▲事前アンケート実施

▲FP相談実施

▲直後アンケート実施

▲事後アンケート実施

# igneel（職場の資産形成アプリ）とは

- 自助努力による資産形成を実現する場として「職場」のポテンシャルを引き出すサービス・アプリを開発、社内に展開。
- 社員の金融リテラシー向上に資する記事コンテンツ、企業年金等のシミュレーション、FP相談やセミナー等の募集・申込機能などを搭載。

会社でのすべての資産形成を、ひとつのアプリで。



ここにしかない情報

社員のためだけのオリジナル情報が満載。



同じ悩みを持つ仲間

社員同士をつなぐイベントや座談会を開催。



自分自身の未来の資産

他にはない、唯一無二の資産シミュレーション。

# igneel（職場の資産形成アプリ）：企業年金・退職金のシミュレーション

- 誰もが一度は知りたい「年金・退職金のシミュレーション」は新規ユーザーが最初に関心を持つきっかけ作りとして有効。また、ライフイベント（会社の昇給、結婚や出産など）のタイミングでの確認ニーズも強い。
  - 年金・退職金シミュレーションでは、入社・現在・退職時（想定）の3時点のパラメータを入力することで、退職後～100歳の支出と収入を概算※。その差額から、退職までに目標とすべき資産形成額を提示することで、自助努力による資産形成を促す。

※特許出願中

## 15問前後の簡単な質問に回答

年金シミュレーション

いまに関して

役職 専門職 >

世帯構成 夫婦 >

配偶者の就業 就業中 >

配偶者の年齢 28

これからに関して

リタイア時の役職 主任 >

リタイア年齢 60

セカンドライフの世帯構成 夫婦 >

セカンドライフの生活水準 ゆとりある生活 >

配偶者の年金に関して

配偶者の公的年金/企業年金 含める >

シミュレーションへ反映

## 退職後の収支と退職までの目標



(A)-(B)

100歳まで左の「セカンドライフの生活水準」を維持するために必要な生活費(A)

退職金と100歳までに給付される年金の合計額(B)



# igneel（職場の資産形成アプリ）：社員の金融リテラシー向上に資する記事コンテンツ

■ 継続的な利用により金融リテラシー向上と資産形成を促すには、日々興味を維持できる記事等のコンテンツが重要。

- 新人や若手社員向けには「企業年金」、「持株会」など社内のできる資産形成制度についての解説記事を掲載。
- 特集記事では、資産形成を身近に感じてもらうために社員インタビューを中心に、資産形成に消極的な層への「家計全般の話」、投資ベテラン社員向けの「一味変わった投資商品の話」など、ターゲット毎の興味を意識した記事を掲載。
- 一般的な金融知識の補足には、「東証マネ部！」や「日経ビジネス」など客観性を意識しつつ、外部の記事を紹介。

(igneelに掲載した記事の例)

特集名	記事タイトル
会社で始める資産形成	やってないのが少数派?! 80%が実践している資産形成とは?
会社で始める資産形成	実はけっこうもらってる?! 給与明細にない、見えない「給与」とは?
会社で始める資産形成	コロナ禍のDC運用、最高成績はどのくらい?
NRIのプロに聞く	プロが語る税制優遇活用と投資のポイント
社員のリアルなおカネ事情	「自己投資こそが、不確定な未来への最大のリスクヘッジ」独身中堅社員のニューノーマルな価値観
社員のリアルなおカネ事情	「投資に目的は必要か?」遠距離DINKSのリアルのスマートな価値観
社員のリアルなおカネ事情	「多忙だからこそ相談を」NRI共働き女性社員のリアルな価値観
あなたの知らない投資	マイナスなのに投資する? 本当は知らない不動産投資の魅力
あなたの知らない投資	真の分散投資とは? 個人も買える、プロ向けファンドの魅力に迫る
(外部)	「収入の2割貯金する」というルール落とし穴 (ダイヤモンド・オンライン)
(外部)	知っておきたいクレジットカード“不正利用”時の対処法 (東証マネ部!)
(外部)	家族が要介護になったとき、絶対知っておくべき国の制度とお金の知識6つ (PRESIDENT WOMAN SOCIAL)



## 資産形成関連のオリジナル記事は大変好評で、金融行動へ直接つながったとの声も。 年金シミュレーションは、受給期間や集計単位・対象などに対する要望が多数あった。

- 実験期間中約1,300人の社員が利用。うち、約60%の社員が年金シミュレーションを実施。  
(初期は一部部署で200名程度で開始。全社に展開したところ1か月以内で社員の2割ほどが自主的に利用)
- 「企業年金シミュレーション」、「社内の資産形成制度についての解説記事」、「社員への資産形成についてのインタビュー記事」など、職場ならではの情報が好評で、一般的な金融記事に比べ概ね5~10倍高い閲覧数になった。



Aさん IT基盤系 (女性・若手)

オリジナルの金融記事が面白く、楽しく読んでます。これをきっかけに持株会に入りました。



Bさん グループ会社出向 (男性・管理職)

会社×お金にまつわる情報が集約できてとても良いです。記事やコメントを読んで、実際に〇〇社の証券口座を開設しました。



Cさん 金融IT系 (男性・若手)

企業年金の水準を初めて知った。給料の高い企業への転職を検討していたが、この数字を見て転職しないことにしました。



Dさん 金融IT系 (女性・若手)

オリジナルの金融記事が面白く楽しみにしています。また、シミュレーションも退職時の役職などを変更していろいろなパターンを試しています。



Eさん 金融IT系 (男性・管理職)

現在のシミュレーションを100年前提だが、寿命を自由に設定したり、総額ではなく月額受給額も見れたりできるようにしてほしい。



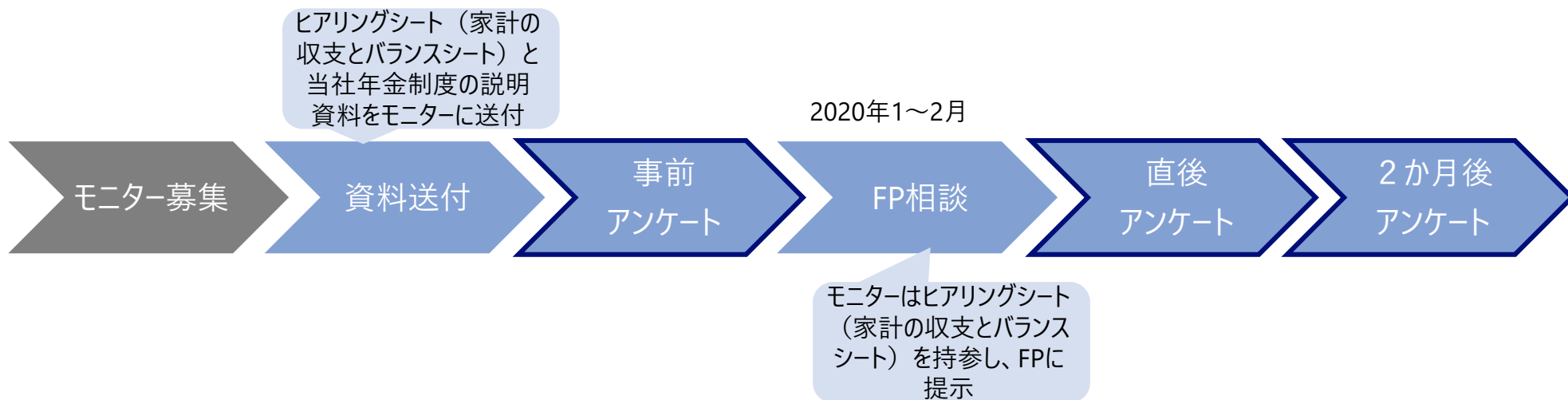
Fさん 産業IT系 (男性・若手)

家計簿アプリに登録している証券資産もシミュレーションに反映してほしいです。



## FP相談（職場の資産形成ガイダンス）とは

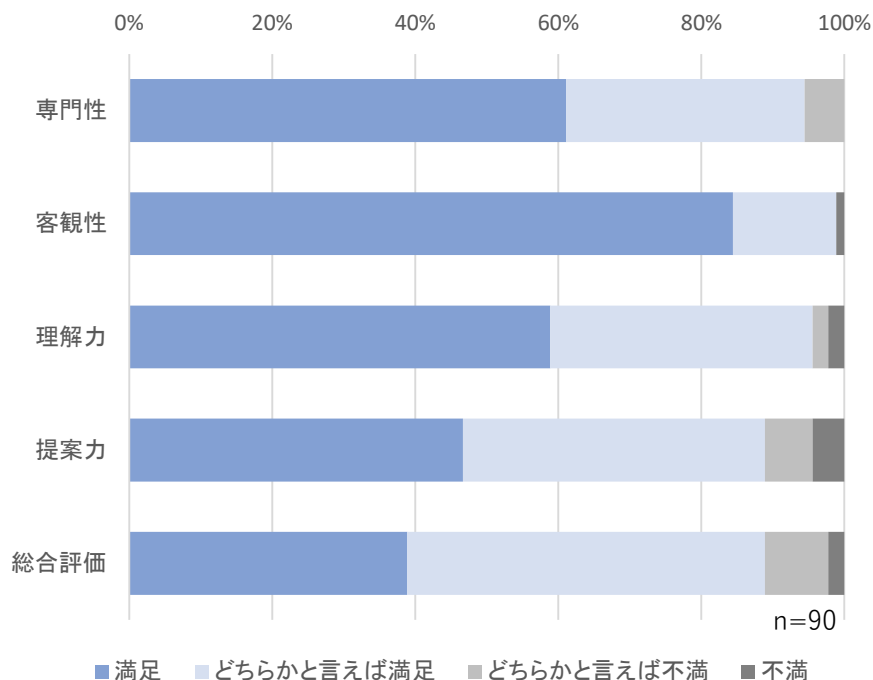
- 自助による資産形成を促す効果を検証するため、社員モニターを募集（約100名）し、プロのファイナンシャル・プランナーによる相談を実施、実施期間は2020年1～2月。
- ファイナンシャル・プランナーは当社の退職給付や福利厚生制度を前提に、社員モニターに対して、家計診断、資産運用に関するガイダンスを行った。
- 社内実験事務局がファイナンシャル・プランナー5 法人と契約し、相談費用を負担。



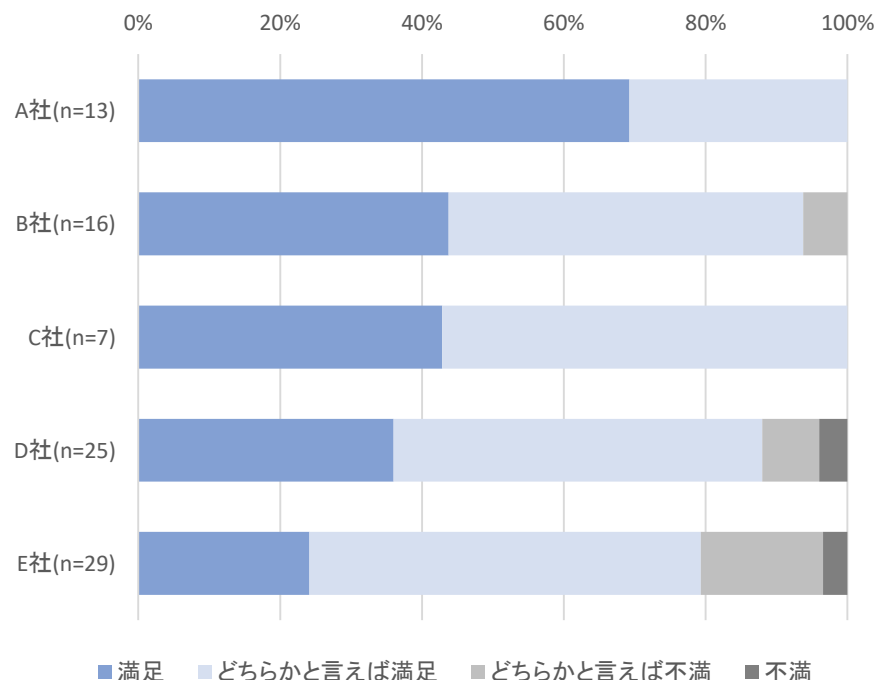
# サービス全体及びFPに対する満足度

- 総合的に約90%のモニターがサービスに「満足」と回答。特に「客観性」について高い満足度を示した。
- なお、総合評価は担当したFPによってバラツキがあった。「職場の資産形成ガイダンス」に類したサービスを行っているFPほど評価が高かった。
  - ➔ 「職場の資産形成ガイダンス」にあわせて企画化・定型化した相談内容を契約先FPに示せば満足度を上げることができる。

サービス全体に対する満足度 (直後アンケート)



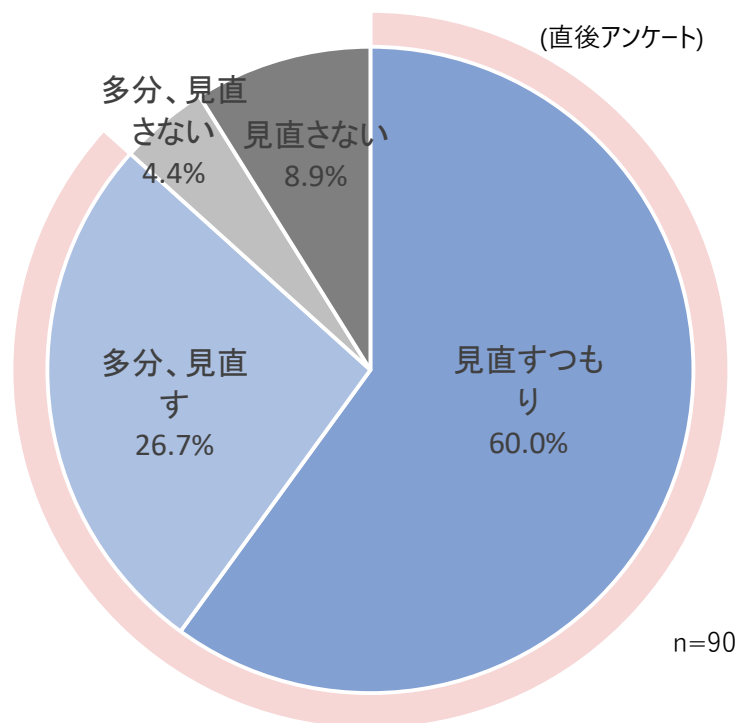
面談したFPに対する満足度(総合評価、FP/FA別) (直後アンケート)



# 資産運用の見直し意向と見直しの実践

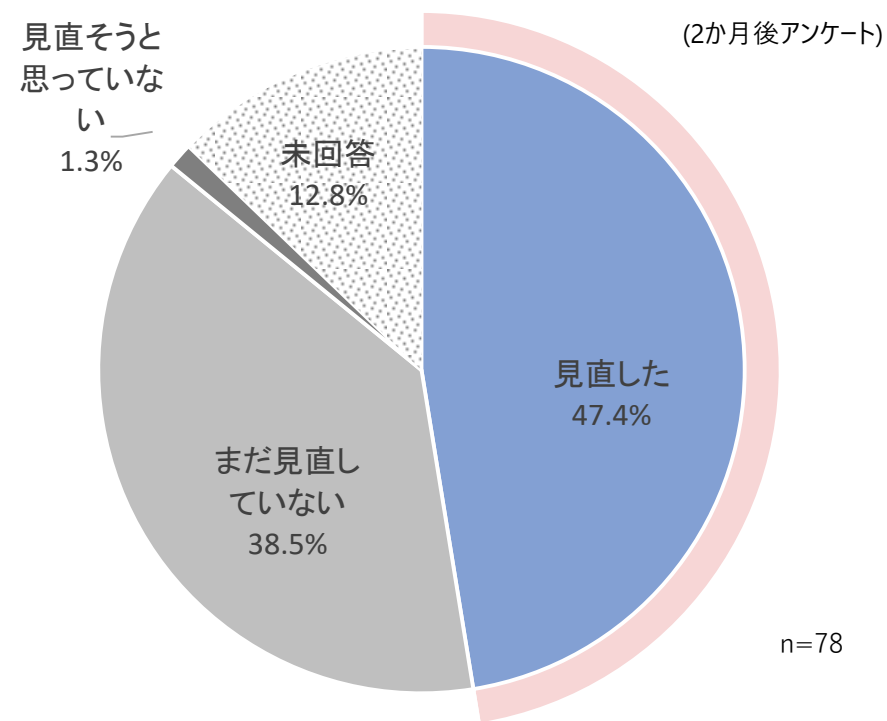
- 資産運用については8割以上のモニターが見直す意向を示した。
- その内、半数近くの人が2ヶ月以内に資産運用の見直しを行った。

## 面談直後の資産運用の見直し意向



## 2ヶ月後の資産運用の見直し実績

(面談直後に「見直すつもり」又は「多分、見直す」と回答した人が対象)

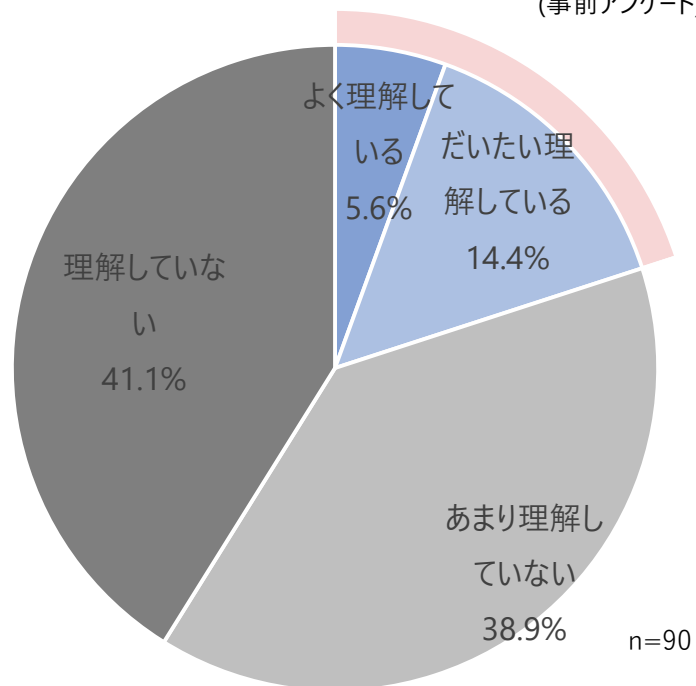


# 会社の退職給付制度の理解度

- F P 相談（職場の資産形成ガイダンス）の前後で、会社の退職給付制度に関する理解度が高まっている。

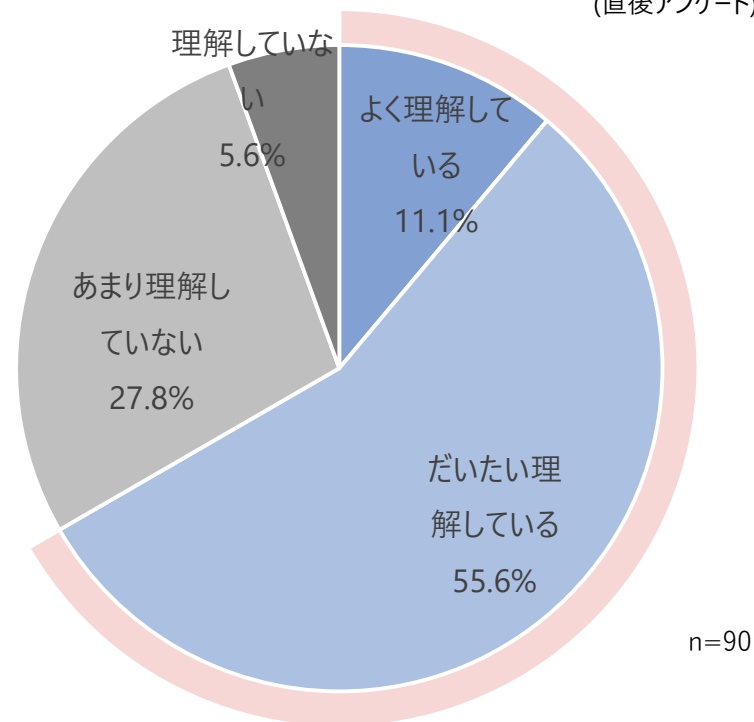
面談前の企業年金や退職金の理解度

(事前アンケート)



面談直後の企業年金や退職金の理解度

(直後アンケート)

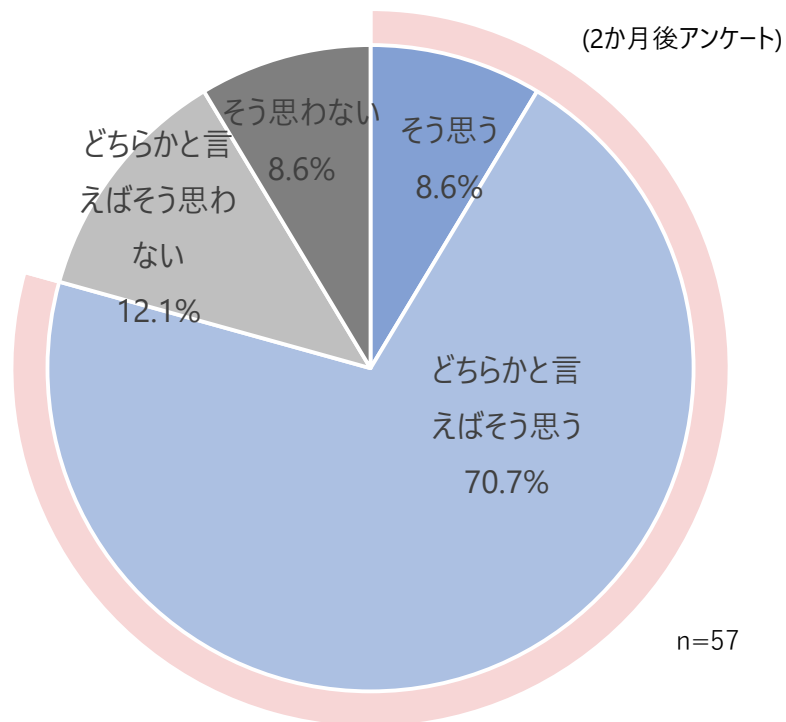


## 働くモチベーションの変化

- F P 相談（職場の資産形成ガイダンス）で退職給付制度や福利厚生制度の相談をした人のうち、凡そ 8 割の人が「働く意欲が高まった」と回答した。
- 同様に、8 割以上の人が「長く働きたい」と回答した。

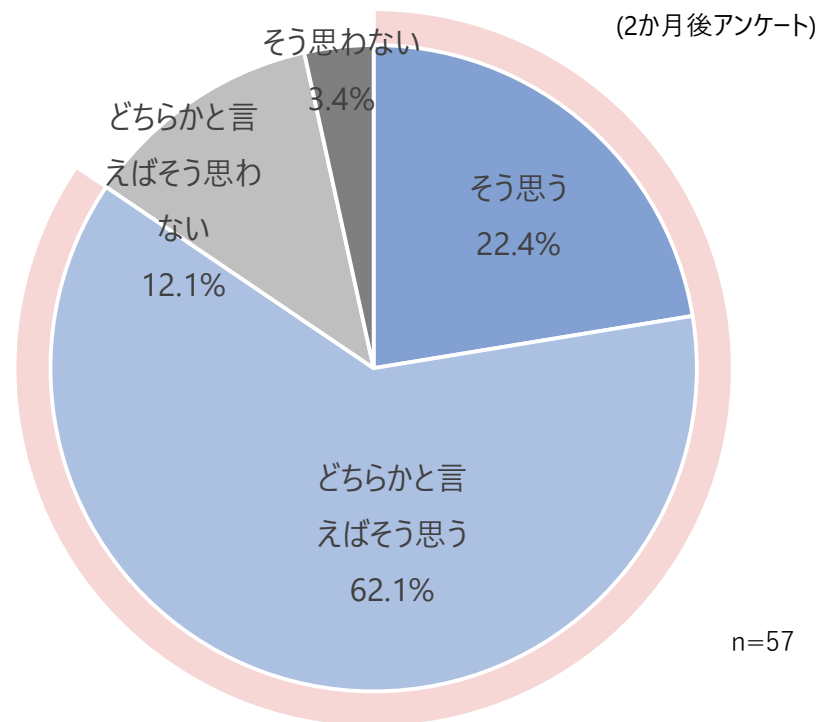
### 働く意欲が高まったか

（F P 相談で退職給付制度や福利厚生制度の話をした人）



### 長く働きたいと思ったか

（F P 相談で退職給付制度や福利厚生制度の話をした人）





The text is framed by two decorative swooshes. The top swoosh is a gradient bar transitioning from blue on the left to red on the right. The bottom swoosh is a solid blue bar.

***Share the Next Values!***